

## 所管事務調査

福祉教育常任委員会  
委員長 赤祖父裕美

開催日 平成24年9月14日（金）13:00～14:05

出席者 委員全員、議長  
教育部長、学校教育課長



### 1) いじめ問題について

教育長の挨拶のあと、教育部長、学校教育課長より  
湖南省いじめ対策マニュアルの説明を受ける。

8月22日 「湖南省いじめをなくそうサミット」を集約し、マニュアルを作成。他市の策定しているマニュアルは県のアクションプランにそった形のものであるのに対し湖南省は独自のものをと策定した旨の説明を受ける。その後、マニュアルについて、また、いじめについて、熱心な議論となる。

### まとめ

いじめについて、湖南省の現状としては、小学校5件（継続1件）、中学校4件（継続1件）の報告を受けている。湖南省としての対応としては、複数の先生で基本対応し、双方が理解をし終息としている。教職員の協力体制と校長のリーダーシップを十分に発揮してほしい、との意見があった。学級、学校単位で外部に情報をもらさない・・・といった体質があるのではないか。また、このマニュアルは、具体性に乏しいといった意見もあり、被害者を守る事を第一に考え、学校だけでなく、専門的な立場の児童相談所やソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、また刑事犯罪に値するものに対しては、警察にも応援をもとめるべきとの意見が相次ぎました。

いじめはいつでも発生しうる恐れがあることからアンテナをはりめぐらしてほしい。いじめは成長段階での個人差などに原因があり、家庭教育にも原因がある場合もあると思われる。

単に罰則規定を設けるのではなく、なぜいじめをしたのかといったその子ども  
の背景までを知り、とことん関わっていく事が求められる。

いじめサミットについては、議員も参加した。感想としては、子ども達が考える機会を得、「無関心は悪いこと」と発表している様子はたいへん頼もしく感じすばらしい取り組みと感じた。今後は、その思いをその場にいた先生方も含めてどう学校でひろげていくかが大きな課題である。

開催日 平成24年9月14日（金） 14：15～15：00

出席者 委員全員、議長  
教育部長、生涯学習課長

## 2) 通学路の危険箇所について

- 資料・平成23年度湖南市内PTA通学路危険箇所要望報告書（27）  
・平成24年度湖南市内PTA通学路危険箇所要望報告書（未完全）  
・文部科学省から要望された危険箇所の点検についての報告書（39）  
その後、担当部長から内容説明を受ける。

### ○ 施工できた箇所（7か所）

- 1 石部南幼稚園 市道長崎線石部南まちづくりセンター付近溝蓋の設置
- 2 三雲小学校 旧東海三雲小学校前交差点、学校所在のわかる看板設置
- 3 岩根小学校 県道野洲甲西線 病院付近T字路、「車注意」など看板及びカーブミラーの設置。通学路の標識設置
- 4 岩根小学校 県道野洲甲西線 車谷川線 ガードレールの設置
- 5 岩根小学校 市道吉永下田線と市道岩根東口花園線の交差点 道路補修及び水路の草刈り
- 6 下田小学校 市道雷古線・堂の城線・祖父川線・浜出線の交差点 歩行者の安全確保のため車等への警告になるものの設置  
浜出橋～西川線 路側帯の設置と西川線に横断帯の設置
- 7 日枝中学校 下田南信号から事業所横の交差点  
ミラーや警告看板の設置等安全確保

### ○ 難しい箇所（5か所）

- 1 石部南幼稚園 宮ヶ谷線 道路の整備、歩道の設置
- 2 石部南幼稚園 県道長寿寺本堂線宮の森 美容院周辺の歩道確保  
商店前の安全確保
- 3 石部南小学校 宮ヶ谷線 道路の整備、歩道の設置
- 4 石部中学校 県道石部草津線岡出口バス停前交差点 点滅信号の設置
- 5 岩根小学校 富陽ヶ丘の交差点 停止の表示

残りについては継続要望中です。

平成24年度については要望書を10月末～11月末にまとめ各関係機関と協議を進めていく。

文部科学省から通達のあった危険箇所の調査については今後公安委員会や関係団体との調整段階であるとの説明を受けました。

説明の後質疑をしました。

#### 今後の改善策

- 当委員会からの要望事項である「通学路に関する推進協議会設置」については設置の方向で考えている。  
(生涯学習課、学校教育課、生活環境課、小中学校安全担当教員、PTA、区長・・・など)
- 何年前から要望が出て、なぜできないのか、どうしたらいいのかを推進協議会での検討が必要。
- PTAの危険箇所については、区長と情報を共有することが大切でそれが出来ていなかった点を改善。
- 来年度の予算に間に合うようスピード感をもって対処すべき。
- 自分の命は自分で守る意味からもランドセルに黄色いカバーを付けさせるなど、考えて知恵をしぼる努力が必要である。

通学路の推進会議の動向をみながら、その進捗状況を今後も引き続いて本委員会で調査していきたいと考えます。

以上報告いたします。